

製品名: CD22 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81263**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	95.3kDa

抗原情報

遺伝子名	CD22
別名	SIGLEC2; SIGLEC-2
遺伝子 ID	933.0
SwissProt ID	P20273
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD22 (AA: 621-725) の精製された組み換え断片。

背景

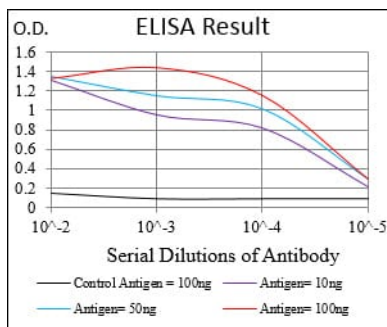
CD22 は、リンパ組織における B 細胞の局在に関与している可能性がある。シアリル化糖タンパク質に結合し、その一つが CD45 である。α-2,6 結合シアリン酸に優先的に結合し、シアリン酸認識部位は、同じ細胞表面上のシアリン酸とのシス相互作用によってマスク

される可能性がある。免疫応答においてリガンド誘導性チロシンリン酸化は、B細胞抗原受容体シグナル伝達の調節に関与していると考えられる。Srcファミリーチロシンキナーゼとの相互作用を介して正の調節に関与するほか、シグナル伝達分子の脱リン酸化を介してシグナル伝達を阻害するSH2ドメインを介して細胞質ホスファターゼをリクルートすることで、阻害受容体としても機能する可能性がある。

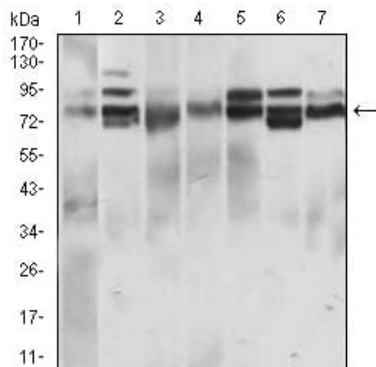
研究分野

-

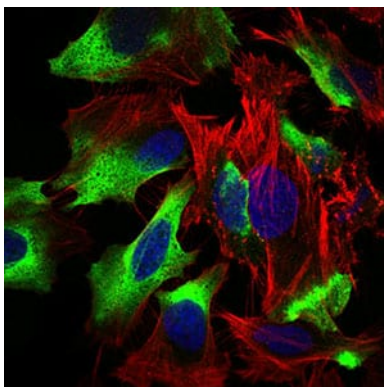
画像データ



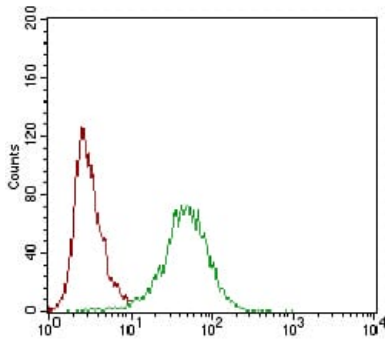
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



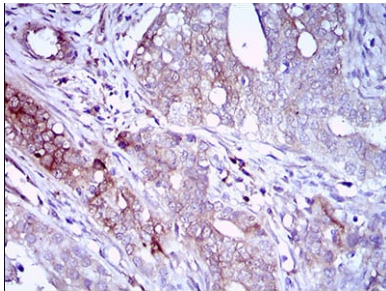
L1210 (1)、Hela (2)、HEK293 (3)、Jurkat (4)、OCM-1 (5)、A432 (6)および NIH/3T3 (7)細胞溶解物に対する CD22 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



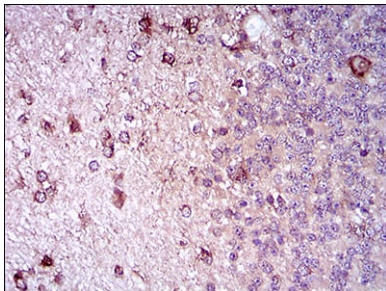
CD22 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CD22 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD22 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD22 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト小脳組織の免疫組織化学分析。